

四〇九一番

卯うの花はなの 共ともにし鳴なけば ほととぎす いやめづ
らしも 名な告のり鳴なくなへ

四〇九二番

ほととぎす いとねたけくは 橘たちばなの 花はな散ちる時とき
に 来き鳴なきとよむる

英遠あその浦うらに行く日ひに作る歌うた一首

四〇九三番

英遠あその浦うらに 寄よする白波しらなみ いや増ましに 立たちしき
寄よせ来く あゆをいたみかも